

[第1号議案]

「防災塾・だるま」2013年度（平成25年度）活動報告

2013年4月26日開催の第5回総会で承認された、2013年度「活動計画」に基づき、「役員会」及びテーマ別に委員会などを組織し活動を展開。

I 活動報告

2013年度活動計画（主催・共催活動：10項目、参加・見学等：3項目）に基づき活動を展開。尚、下記活動計画については委員会を立上げ計画を推進。

実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座	・・・「講座運営委員会」
首都圏の減災を考える	・・・「首都圏の減災を考える会」
地域防災への協力講座（地域貢献事業）	・・・六角橋ケアプラザなど
学校防災への協力講座（地域貢献事業）	・・・横浜市立港中学など
地域防災への協力活動（地域貢献事業）	
だるま防災教育資料の編集・管理	・・・J-DAGなど

[主催・共催活動]

1. 防災塾・だるま「定例会」及び「防災まちづくり談義の会」の運営

・開催日及び参加者

月 日	だるま定例会	参加者	談義の会	参加者	備考（役員会等）
4月26日	2013年 4月 ・第5回総会	30名	第95回	37名	4/16 第43回役員会
5月24日	2013年 5月	17名	第96回	56名	5/7 第44回役員会
6月28日	2013年 6月	28名	第97回	39名	6/6 第45回役員会
7月26日	2013年 7月	22名	第98回	39名	7/16 第46回役員会
8月23日	2013年 8月	28名	第99回	37名	8/6 第47回役員会
9月27日	2013年 9月	23名	8周年記念事業 第100回	34名	9/19 第48回役員会
(10月25日) 11月 6日	2013年10月 変更して開催	8名	台風26号のため 中止	—	10/2 第49回役員会
11月29日	2013年11月	21名	第101回	32名	11/12 第50回役員会
12月20日	2013年12月	21名	第102回	29名	12/3 第51回役員会 合同懇親会(42名参加)
1月24日	2014年1月	20名	第103回	31名	1/7 第52回役員会
2月21日	2014年2月	24名	第104回	24名	2/4 第53回役員会
3月11日	2014年3月	21名	第105回	24名	3/8 第54、3/25 臨時
年間参加者計	昨年度244名	263名	昨年度365名	382名	役員会

*各回の詳細は だるまHPを参照

参加者数：会員以外の参加者含む

・活動内容

添付資料 「防災まちづくり談義の会 100回のあゆみ」参照

*各回の詳細は だるまHPを参照

2. 「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の開催（主催：神奈川大学）

- ・4月30日、第1回「講座運営委員会」開催。

委員会メンバー：伊東（リーダー）、池田、小原、片山、加藤、小早川、白田、高松、田中（喜）、
中村（茂）、中村（俊）、成松、森、山口（章）、山田（美）（計15名）

- ・以降7回の講座運営委員会を開催しカリキュラム・講師選定など詳細を決定。
- ・10月24日～11月28日 全6回（3.5時間／回）で講座開催。 講座受講者 34名
- ・開催場所：神奈川大学 KUポर्टススクエア及び横浜市民防災センター（第5回目）

<メインテーマ> 地域に生かす「防災・減災の知識・知恵」を学ぶ

第1回 近々来ると想定されている「首都圏大地震の被災規模とひっ迫性」を学ぶ

講師：荏本 孝久氏 神奈川大学工学部教授、防災塾・だるま塾長

第2回 被災地から学び、地域に活かす

講師：佐藤 栄一氏 消防科学総合センター

第3回 横浜市の防災計画を学ぶ

講師：小野寺 勝氏 横浜市総務局危機管理室 危機対策計画課長

第4回 地域での防災活動実践者の話を聞き、地域に活かす術を学ぶ

講師：白田 克雄氏 元 南区六ッ川地区連合防災部長、防災塾・だるま理事

第5回 命に関わる発災直後の1時間について考える（J-DAGを体験）

講師：片山 晋氏 防災を考える会・磯子代表、防災塾・だるま理事

第6回 首都圏大災害を想定し、対策を学ぶ

講師：高松 清美氏 NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク理事、

防災塾・だるま理事

講師：田中 喜世美氏 神奈川区白幡小学校地域防災拠点運営委員、

防災塾・だるま理事

講師：成松 洋 氏 都筑区災害ボランティアコーディネーター、防災塾・だるま理事

講師：山田 美智子氏 ひらつか防災まちづくりの会役員、防災塾・だるま理事

*詳細は だるまHPを参照

3. 防災塾・だるまHPの維持管理

だるま事業活動の進展に伴い、HPによる発信情報が質的・量的にも充実化するよう努めています。今年度発信した主な事業には次の活動があります。

- ・地域防災への協力講座：六角橋地域ケアプラザ「地域デビュー講座」
- ・学校防災への協力講座：横浜市立港中学校「まち歩き防災マップ作り」
- ・諸団体の防災活動への協力：神奈川県建築士会女性委員会「HUGから学ぶ」
- ・実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座：

2013年「地域に生かす防災・減災の知識・知恵を学ぶ」

- ・J-DAG（発災直後の行動ゲーム）：J-DAG（Version-1.0）のゲーム資料一式
- ・防災関連資料：「ひらつか防災まちづくりの会」による防災アンケート調査
- ・防災関連情報：学校・家庭・地域にとっての避難所運営

「防災拠点とは ～災害の備え～Part I」

- ・だるま事業 活動参加・見学：神戸の集い2014 「私の感想」

4. 8周年記念イベントの実施

- ・8周年記念講演会を第100回談義の会として開催。

9月27日(金) 18時～19時30分 場所：神奈川大学 23号館 206号室

テーマ：「関東大震災直後の小学校 ～横浜の事例から～」

＜震災直後 小学校と教職員の行動・貢献＞

講師：松本 洋幸氏 横浜市資料室 調査研究員

司会：山田 美智子氏 湘南平塚コミュニティ放送 パーソナリティ

- ・「防災まちづくり談義の会 100回のあゆみ」の作成・配布

「防災まちづくり談義を楽しむ会」及び「防災まちづくり談義の会」通算100回を記念してこれまでの活動を「あゆみ」として作成・製本(300部)。第6回総会以降配布。

活動メンバー 資料収集・まとめ：池田、佐藤(忠)、中島

複写製本 : 小原、片山、高松、田中(喜)、山口(昭)

5. 首都圏の減災を考える会の運営

- ・委員会メンバー：片山(リーダー)、伊東、内田、添田、高松、玉井、鶴谷、森、山口(昭)、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、長沼、宮川、鈴木(徳) (計 15名)
- ・2012年、7周年記念行事として「首都圏の防災を考える」のタイトルで講演とパネルディスカッションを行い、報告書を作成。
- ・2013年度は具体的な活動はしておらず、今年度で終了とする。

6. テーマ別に委員会などを組織し取り組む活動

1) 防災・減災に関する意見提案(パブリックコメントなどへの対応)

横浜市(神奈川県も同様)は、2011年3月の東日本大震災を踏まえて、2013年3月防災計画「震災対策編」の大幅な修正を行った。

だるま活動としては、2012年度意見書の提出を行い、この防災計画修正に関ってきた。

2) 地域防災への協力講座(地域貢献事業)

①六角橋地域ケアプラザへの協力

活動メンバー：片山(リーダー)、伊東(サブリーダー)、田中(喜)、山田(美)、成松、中島、高松 (計 7名)

「地域デビュー講座」：全4回(講義 10/15, 10/22, 10/31 J-DAG ゲーム 11/4)

講師(荏本塾長、片山、加藤、田中(喜)、森、山田(美))ほか運営に協力。

「フォローアップ講座(トイレ対策)」：2月18日開催

講師：田中(喜)ほか伊東、片山、加藤、菊地、高松、山田(美)が運営に協力。

②県西地区防災講座への協力

- ・開成町：11月10日 J-DAG を実施

活動メンバー：片山、高松、田中(伸)、森

- ・大井町：1月26日「チームあしがら」J-DAG 訓練を実施

「チームあしがら」(田中(伸)、山田(富))、協力：片山

3) 学校防災への協力講座（地域貢献事業）

①横浜市港中学校

活動メンバー：高松（リーダー）、池田、荏本、小原、片山、加藤、佐々木、田中（喜）、
中島、中村（茂）、成松、森、山田（美）（計 13 名）

内 容：2013 年度は下記を実施

7/17：「防災マップ作り授業（目的と作り方）」1・2 年生対象 講師：森

12/9：平成 25 年度学校保健委員会（生徒 300 名ほか教職員父兄）での講話。

「防災講話」講師：池田、「港中学校の防災・減災の取組について」講師：高松

②戸塚区公立中学研究会「学校における安全管理」

活動メンバー：講師 加藤、運営 高松、協力 池田

内 容：7/3 9 校から教職員 27 名が参加し、クロスロードを実施

4) 地域防災への協力活動（地域貢献事業）

①「ひらつかまちづくりの会」への協力

活動メンバー：山田（美）、添田

内 容 今年度はひらつかまちづくりの会のメンバーで対応。

②神奈川県建築士女性委員会への協力

活動メンバー：白田、中村（俊）、成松

内 容：

- ・5 月 9 日：HUG ファシリテーター養成講座開催
- ・6 月 6 日：福祉避難所等の学習会開催
- ・7 月 20 日：ワークショップ「防災・減災を考えよう～HUG から学ぶ」を開催。
だるま共催 講評：荏本塾長 協力：池田、高松

③横浜市男女共同参画センター（常光 明子氏 だるま会員）への協力

「ヨコハマわたしの防災カノート（だるま 編集協力）」をテキストとした「わたしの防災力U講座～大切な人・まちを守るために」を 21 か所で開催。

④横浜青年会議所「Bo-sai2014」への協力

活動メンバー 片山（J-DAG プーリーダー）、加藤（展示プーリーダー）、石井、浦辺、小原、
高松、田中（喜）、玉井、中村（茂）、成松、早川、山田（美）

内 容 3 月 8 日開催（於 山下公園）

J-DAG ブース：J-DAG を 2 回実施（参加者 各回 20 名）

青年会議所会員ほか行政職員の参加もあり、J-DAG を体験

展示ブース：「防災塾・だるま」紹介（田中（喜）さん作成）パネル及び

「J-DAG」紹介（片山さん作成）パネル、合計 7 枚を展示。

また「防災塾・だるま」紹介チラシと入会申込書も配布。

⑤中区地区連別減災対策事業への協力

活動メンバー 中村（俊）（リーダー）、白田（サブリーダー）、小原、佐藤（忠）、高松、
田中（喜）、中村（茂）成松、森（計 9 名）

内 容 中区が計画した、12 地区連合に対しての、減災対策事業に対し、防災コーディネーターとして、まち歩き・防災マップ作りなどを支援。

今年度 12 地区中、9 地区で顔合わせ終了、また 3 地区でまち歩き開始。

⑥緑区鴨居中学地域防災拠点（代表 山口章氏 だるま会員）の防災活動への協力

活動メンバー 講師；森 ファシリテーター：池田、小原、佐々木、高松、田中（晃）、
田中（喜）中村（茂）、中島

2 月 1 日 拠点運わるメンバー（役員関係者 21 名）を対象に HUG を実施。

5) だるま防災教育資料の編集・管理

① J-DAG「発災直後の行動ゲーム」（考案 片山さん、監修 防災塾・だるま）

・活動メンバー：片山、中島、山田（美）

・当初、J-DAG の全資料を収録した CD を作成したが、供給手段とバージョンアップ等への対応が困難なことも勘案し、「防災塾・だるま」のホームページで公開することにし、2013 年 12 月に試作品を公開。

内容：ナレーション（山田（美））付きのパワーポイントでの J-DAG の説明
文章による J-DAG の説明

印刷して J-DAG の材料を作成するエクセルデータ

・プレゼンテーション付き実践例を追加し、完成版バージョン 1.0 を 2014 年 2 月公開。

7. 必要が生じた場合の活動（勉強会・交流など）

1) 会員向け学習会の開催

① J-DAG 体験・勉強会

9 月 19 日 養成講座に先駆けて会員対象に開催（於：横浜市民防災センター）

講師 伊東、片山、山田（美）

1 月 7 日 体験ではなく J-DAG とはどんな目的と効果のあるゲームかの説明会を開催。講師 片山

2) 防災活動団体との交流

① 神奈川県大井町との交流

・6 月 16 日 大井町防災講演会への出席（荏本塾長 特別参加）

・3 月 23 日 地域シンポジウム（於：神奈川県生命の星・地球博物館）修了後交流会（27 名が参加）を開催。

8. 土木学会との交流

来年度の 9 周年記念行事（アンケート調査：土木学会共催）の企画・検討を実施

だるま：片山、山田（美） 土木学会：田中氏、山本氏

9. 「神奈川大学防災センター」への参加協力

神奈川大学では「防災センター」設立の方針決定はなされたが、具体的な内容の開示や取組みの公表までには至っていない。

10. J-DAGの具体化（試作～公開）

活動メンバー 片山、山田（美）

1) 開発の経緯

J-DAGは、以前から有った構想を、2013年に1月から始まる六角橋地域ケアプラザでの防災の地域デビュー講座で実施すべく、2012年11～12月にだるま会員片山氏が開発。

2) 試作～公開

2013年2月5日に初実施。その後、今日までに、防災まちづくりコーディネーター要請講座や研修会、自治会・町内会、イベントなどで十数回行っている。

神奈川新聞、朝日新聞で大きく取り上げられ、また「防災塾・だるま」のホームページから全ての資料がダウンロード可能になり、徐々に広まりつつある。

11. その他

1) 文科省「地域防災対策支援研究プロジェクト」への参画

採択事業「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」が平成25年度から3年計画でスタート。

- ・目的：神奈川県下の官・学・民の各層が求める実務的な神奈川県版地域研究成果データベースを作成
- ・運営委員：15名（代表：荏本先生） だるま関連委員：荒巻氏、植山氏、佐藤先生、杉原氏、中川氏、だるまからの参加：池田、中島
- ・イベント開催：シンポジウム「これから起こりうる 神奈川県の地震と火山災害」
3月23日（日）、来場者：130名、会場：神奈川県立生命の星・地球博物館

2) 横浜市危機管理監と「防災塾・だるま」との意見交換が実現

「市民による地域の防災・減災への取組み」

月日：12月13日（金） 場所：神奈川大学 1号館特別応接室

横浜市側：立花危機管理監、中山危機管理室長、宇都木危機管理部長、小野寺課長

だるま側：荏本塾長、池田、高松、中島

[参加・見学など]

1. 「神戸の集い2014」

2014 年 1.17 の集い（19 周年）への参加（計 9 名）

参加者：荏本塾長、池田、植山、小林、田中（喜）、中島、早川、山田（富）夫妻

現地の参加協力：松山順三氏（元神戸市職員）、今石佳太氏（芦屋市企画部市長室長）

参加内容：①被災の記憶を巡る ②神戸市役所・防災展示室 ③松山さん・今石さん懇親会

④1. 17 慰霊式典 ⑤人と防災未来センター

その他：2 月 21 日だるま定例会で参加報告会を実施（感想文はだるま HP に掲載）

2. 防災ギャザリングへの参加 「防災ギャザリング 2014 from かながわ」

実行委員会への参加：森（委員長）、植山、小原、高松、田中（喜）、宮川、山口（昭）

グループ展示・実演への参加：佐藤（忠）、関口

1 月 18 日：グループ展示・実演（於 横浜市民防災センター 来場者 700 名）

～わが身を守るのはあなた自身の責任です～

2 月 2 日：地域防災スクール in かながわ（於 県民ホールセンター 来場者 120 名）

～もし、ここ神奈川で地震災害がおきたらあなたは何をすればいいと思いますか～

3. 3.11 東北訪問と報告会など

1) 東日本大震災 2 周年企画「被災地の今と声を地域に伝えよう」3.11 被災地を巡るⅡ

・4 月 26 日（第 95 回）談義の会で報告会を開催。 司会 山田（美）、田中（喜）

報告者 新井田、石井、池田、岩楯、小原、佐々木、高江須、山口（昭）、山口（章）

報告会資料作成 田中（晃）、田中（喜）

・報告書「被災地の今と声を地域に伝えよう」の作成・配布

6 月、報告書 125 部を完成、希望者に頒布

作成・編集：田中（晃）、田中（喜）、山田（美）

印刷：片山、田中（喜）、玉井、山田（美）

2) 東日本大震災 3 周年企画

3.11 に合わせ第 105 回談義の会を開催（3 月 11 日 於：神奈川大学 16 号館）

話題：「3. 11 から 3 年 被災地復旧の現状と課題 ～経済学者の視点から～」

講師：佐藤 孝治氏（神奈川大学経済学部教授、防災塾・だるま顧問）

以 上